

## 第2回敷島地区地域審議会 会議録

■日時：平成21年11月25日（水） 午後7時～9時

■場所：甲斐市役所 敷島庁舎2階 会議室D

### ■会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 企画部長あいさつ
- 4 協議事項
  - ① 敷島庁舎の新築移転及び現庁舎跡地の利用について
- 5 報告事項
  - ① 国の補正予算に対する甲斐市の対応について
  - ② 志麻の里防災公園について
  - ③ 竜王駅周辺整備事業について
  - ④ 双葉スマートインターチェンジについて
  - ⑤ 竜王庁舎増築事業について
- 6 その他
- 7 閉会

### ■出欠席者

- ・出席委員【9名／10名】
- ・欠席委員【1名】 ※相川委員
- ・事務局  
小田切企画部長、市川企画課長  
企画課総合政策担当：石合リーダー、石原、伊藤  
小宮山総務課長、総務課庁舎整備担当：三井リーダー、長田  
湯本敷島支所長、市民課市民担当：飯沼リーダー

## 議録

### 1、開 会

#### 【企画課長】

皆さんこんばんは。定刻になりましたので、第2回目の敷島地区地域審議会を開催いたします。会議の前にあいさつを交わしたいと思いますので、全員ご起立をお願いします。

「相互に礼（こんばんは）」

それでは、最初に山口会長あいさつをお願いします。

### 2、会長あいさつ

#### 【会長】

皆さんこんばんは、第1回審議会の中で会長職に任命されました山口でございます。よろしくお願ひいたします。

審議会とは委員の皆様は既に承知だとは思いますが、第1回審議会の中で事務局より地域審議会の内容について説明がありましたが、再度、条例の内容について確認しますと、条例の第3条に所掌事務があります。その中に、新市建設計画の変更に関する事・新市建設計画の執行状況に関する事・その他市長が必要と認める事項と三つの所掌事務が決められております。

本日は、協議事項として敷島庁舎新築移転及び跡地利用に関する事、報告事項として五つほどあります。特に敷島庁舎の移転、跡地利用については、委員の皆様からご意見・ご提案を出してもらい意見集約をしていきたいと思ひます。

簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。本日は誠にご苦勞様です。

#### 【企画課長】

ありがとうございました。次に、企画部長あいさつ。小田切部長お願ひします。

### 3、企画部長あいさつ

#### 【企画部長】

委員の皆様こんばんは。企画部長の小田切でございます。本日は第2回目でございます。第1回目は7月に開催し改めて委員さんに委嘱を行いました。また、平日の仕事が終わった後、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。

国のほうでは、長期の自民党政権の無駄を見直すため現在、事業仕分けを行っております。非常に国民の関心が高いものであります。地方自治体にとりましては、今後、新年度予算編成に向けて事業を取り組んで行かなければなりません。そんな時期にあたっております。地方への配慮がどのようになるのか注目すべきものであります。

甲斐市は合併して5年が経過をする中で、甲斐市新市建設計画に基づきまして事業執行している内容についてのご説明を申し上げますけれども、新市建設計画につきましては、今のところ変更ということはありませんが、現在執行している内容について委員さんにご協議していただくこととなります。

先ほど、会長さんの話にもありましたとおり、庁舎の問題につきましては、新しい庁舎を敷島総合文化会館の敷地へ移転することではありますが、それにつきましてはこの後説明を行います、23年度に建設し、既存庁舎は建築後四十数年経っている。また、耐震補強ができないことから跡地利用について、どのような利用方法があるのかご協議していただきたい。また、旧自民党政権の中で21年度に16兆円の大型補正を組みました。甲斐市においても今後、新市建設計画の中でやっていかなければならないことも、かなり前倒しをしてここ数年先の分まで21、22年度にかけて実施をしていくことで考えております。この内容についても、この後事務局から説明させていただきます。いづれにつきましても、協議事項の跡地利用が協議となりますので、よろしくご審議願います。簡単ではございますが、あいさつに変えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

**【企画課長】**

ありがとうございました。それでは協議に入りますが、その前に本日の資料の確認をいたします。(資料確認：事前配布資料と当日配布資料の確認)

それでは、協議事項に入りたいと思いますので、進行を山口会長にお願いします。よろしくお願いいたします。

4、協議事項

①敷島庁舎の新築移転及び現庁舎跡地の利用について

**【会長】**

それでは、進行の座長を務めさせて頂きたいと思います。協議事項の①敷島庁舎の新築移転及び現庁舎跡地の利用について事務局から説明をお願いします。

**【総務課長】**

総務課長の小宮山ですよろしくお願いいたします。最初に職員の紹介をさせていただきます。庁舎整備担当の三井と長田です。

敷島庁舎新築移転の事業説明(工事概要)を行い。跡地利用について委員さんの意見等を聞きたいと思います。

(資料により説明：P1～6)

**【会長】**

小宮山課長から庁舎新築事業についての説明がありましたが、これにつきましては甲斐市全体の中で庁舎検討委員会でのいろいろな議論がとり交わされまして、事業計画と設計をおこなったということでもあります。また、24年度から新庁舎で業務を開始することです。この関係につきましては自治会連合会及び昨年の地域審議会で話が出されておりまして、概ね了解しているという内容でございます。なお、庁舎建設とは直接関係はございませんが、要望(安全性等)として北側からきている水路の湾曲ができないかどうか、もうひとつは未舗装部分の舗装についてもお

お願いしたいという要望が審議会、自治会から話が要望として出されております。いまから、これをどうこうということではなくて、内容の中でお聞きになりたいことがあれば委員の皆様から出していただきたい。質問でも結構ですのでよろしくお願いします。

**【委員】**

水路については自治会連合会からも要望が出ていますのでよろしくお願いします。

建物（庁舎）の外観の色は総合文化会館を基準とした色体で統一したいと聞いていますが、そのようなことで決められているのでしょうか。

**【総務課長】**

これから実施設計に入りますので、ご意見等を伺う中で外壁の色、外壁材にはどういった物がよいのか今後、検討し反映させていきたいと思えます。

**【事務局】**

（イメージ図提示し補足説明）

外壁の色については課長も申しましたとおり、具体的な色等は実施設計の中で検討していきたいと考えております。

**【会長】**

他にありますか。

**【委員】**

建物の色は、市の指定色があるのか。

**【総務課長】**

特段ありませんが、現竜王庁舎の様な色が多く使われていますが、委員さんたちの意見を聴く中で景観等を重視した内容で実施設計に入っていきたいと思えます。

**【会長】**

色については藤森委員さんも言いましたが総合文化会館の色とうまく合う内容で検討してもらいたい。その他にどうでしょうか。

**【事務局】**

敷地内に滞在する水路の暗渠化の件と舗装の件について、長期計画の中で大まかに外溝工事の予算どりをしておりますが、今回の外溝工事に含めると外溝が脆弱なものになってしまう。今後、担当する教育委員会と協議する中で前向きに進めていきたいと思えますのでご理解願います。

また、自治会、地域審議会からの要望も十分承知しております。

暗渠化についても設計が出来る技術職職員により既に設計はしてあります。金額的に外溝工事に含めるのは難しいですが、担当部署と協議する中で進めていきます。外溝工事の中ですべて賄えると理解はしないでください。

舗装については、敷地内は行いますが敷地外は予定していません今後、検討していきます。

**【委員】**

青空市場はどうなるのか。

**【事務局】**

再来年（H23年）の1月以降に敷地内（南側）に移転します。

**【会長】**

次回からは図面に表示していただきたい。

**【委員】**

現庁舎の駐車場は手狭である。新築庁舎は平屋造りであるが、2階建てして駐車スペースを確保したらどうか。

**【事務局】**

駐車場については先程説明しましたが、来庁者駐車場18台で職員駐車場10台と説明しましたが、これはあくまで敷地内の駐車台数であります。隣に敷島総合文化会館の駐車場がありますので、そちらの併用をということでご理解願いたい。

**【委員】**

駐車場満車時に総合文化会館駐車場の利用について、市民に理解を求めるPRをして頂きたい。

**【委員】**

総合文化会館で大きなイベントがあった時の駐車場の配慮をしてもらいたい。

**【委員】**

青空市場の移転、水路の整備、身体障害者への配慮をしてもらいたい。

**【事務局】**

身障者駐車場は1台確保してあります。実施設計の中で複数台必要ならば検討していきます。

**【委員】**

庁舎屋上への太陽光施設の計画はありますか。

**【総務課長】**

今のところ太陽光施設は考えておりません。

**【会長】**

検討委員会では太陽光についてどうでしょうかという話はあった。エコの時代でもありますので検討をしてもらいたい。

**【総務課長】**

全体的な予算も含めた中でCO2の問題も検討しご報告できればと思います。

**【事務局】**

竜王庁舎同様に敷島庁舎もエコ関係はかなり配慮されています。有利な補助金等が取れるのであればよいのですが、その辺を見ながら考えていきたいと思いますのでご理解願います。

**【会長】**

分かりました。他に無いようでしたら、次の跡地利用は入りたいと思います。

**【総務課長】**

先程説明しましたが、H24年度に現庁舎を解体するという事で、24年度中には地域の皆様方のご意見を聴く中で方向付けをしていきたいということでありますので、委員さん方のご意見をいただき、それを元に方向付けをしていきたいと思ひます。

**【会長】**

皆さんの意見をお願いします。

**【課長】**

(追加資料(現況図面)により既存敷地の面積等の説明)

- ・東側部分：約 2,380 m<sup>2</sup> ・庁舎部分：約 3,360 m<sup>2</sup> ・西側部分(県道反対側)：約 1,340 m<sup>2</sup>
- ・合計：約 7,085

**【事務局】**

東側駐車場についてですが、倉庫等がありまして今回の取り壊しの費用には含まれておりません。倉庫内に入っているものがありますので当面の間は利用します。ただ、どうしても利用したいということならば、方向性が決まったときに市の土地でもありますから考えていきます。

当面、今考えているのは3,360 m<sup>2</sup>内にある建物の取り壊し解体をH24年度に行うということで長期計画に入っております。

【会長】

東側の2,380 m<sup>2</sup>部分にある倉庫は24年度の取り壊しには入っていないということですね。

【事務局】

そうです。ただ、倉庫も見てのとおりのものでありますから利用の形態によってどうとでもなります。

【会長】

24年度の取り壊しは3,360 m<sup>2</sup>部分だけということですね。

【総務課長】

はい。庁舎部分のみの取り壊しです。

【会長】

24年度の取り壊し工事は、図面の真ん中の庁舎部分を行い、東側駐車場は含まれてないということでもあります。

このことを含めまして、ここが更地になったとき敷島の皆様方のために福祉の向上とかいろいろな面を考えた中で、どういう利用形態、利用方法が考えられるのか。これは、今日で云々ということではないんですよ。

【総務課長】

そうです。まだ先の24年度の話ですので委員さんの意見を聴く中で、今後も審議会の中で議題としていただき、すり合わせていきたい。

【会長】

それでは皆様からの意見をいただきたいと思います。

【委員】

最近の傾向は地方分権ということですが、もっと分けて市の中でも各地域にある程度の権限をお願いをして地域でまちをつくりあげたいという市が全国的に見受けられております。いづれそういうことであっても、トータル的には市全体のバランスもありますので、そういうことも加味しながらということになってくるでしょうけれども、今、総合文化会館の一部上のほうでしようか公民館という形で利用されて本来の機能が充実されていない。一部はありますけれども、そういう意味で、大きい言葉で言いますと生涯学習センターというタイトルで、これだと市全体のようなイメージになってきますけれども、市全体でも構いませんが、旧敷島町の中にも集

約した利便性の高いものを、敷地が広いですので、生涯に渡って学習活動が支援できるような施設、例えば学習室、和室、茶室、陶芸教室の部屋、調理室、視聴覚施設、展示室、創作室等々。連合会の研修で浜松の施設を見学に行ったがすばらしい施設であった。施設の中には印刷の設備もあり、印刷機、コピー機等、安い価格で市民に提供している。

また、庁舎の隣に子育て支援センターがありますが、これも取り壊しになってしまうが、どこかに移転計画かは伺っていませんけれども。跡地の利用としてはその中の一角に子育て支援センターを含めた施設でもいいのではと思います。そんなことで生涯学習センターを検討したらどうかと考えております。

#### 【会長】

藤森委員さんから大きな形で生涯学習センターという話がありましたけれども総合文化会館の公民館の機能的なものがいまいちではないかということで、跡地へそういうものがどうかということであります。また、住民サービスと使いやすさを考えた内容と子育て支援センターを含めた内容ということであります。

#### 【委員】

今回公募で委員となりましたが、公募で応募した理由が少子化対策、保育園の充実であります。私の娘は共働きをしていますが一昨年の11月に出産をしまして一年間職場を休暇していました。職場復帰するときに敷島地域のすべての保育園への入園を希望しましたが、すべての園で定員オーバーのため翌年3月頃にならないと空きが出ませんということでした。非常に困りまして、最終的には甲府市へお願いして入園させていただき共働きが出来るようになりました。跡地には保育園を建てていただけたら助かる世帯が多いのではないかと。また、市でも子育て支援に力を入れていることですから、その一環としてぜひお願いできないかと思っております。

#### 【委員】

民生委員の立場からですけれども、現在、父子・母子家庭が多く、小さい子供を預かる場所が非常に少ないと感じます。子供を7時8時頃まで預かってくれる場所が必要だと思います。子育て支援のできる施設を考えていただきたい。

#### 【会長】

白鳥委員さんからの話にありましたように、年度の中で入園するという話は私も聞いております。今度、児童福祉の会合がありますので、その場で聞いてみようと思っております。

もし、その辺の内容が分かる方がいましたら説明をお願いします。

#### 【企画部長】

昨年の10月まで福祉保健部長をしていましたので、保育園の実情を話したいと思います。甲斐市内のお子さんには現在、約1,500名います。市内には保育園が公立8園、私立8園あります。

それだけではとても賄いきれませんが、家庭の都合上、勤務先が甲府であれば甲府の保育園へ自ら預けたいという方もおられます。敷島で白鳥委員さんもおっしゃりましたが敷島の保育園に預けたいのだけれども年度中途では大変であるということが現状であります。そういう中で昔と違って、育休が産後一年間ということですから、その後共稼ぎの家庭が増えているわけですから、どうしても未満児のお子さんを預けなければならないということで低年齢化している。預けたい需要は3歳から4歳のお子さんではなくて、1歳くらいから預けたい、場合によっては半年くらいから預けたいということが現状であります。そういうことから甲斐市でもご提言をいただいた保育園、子育て支援の充実からしますと、案として検討の課題となると思います。また、敷島町の例をとってみますと、山の手通り（県道甲府韮崎線）の南側には保育園、幼稚園がありますが北へ上ってくると、ふたば保育園と富士幼稚園しかありませんし、牛句にある私立のふたば保育園は今後数年後には閉園したいという考えもあるようです。県道から以北には児童施設がないという現状が近いでできますので、その辺は持ち帰って違う意見もあると思いますので参考にさせていただきたいと思います。

#### 【委員】

現在は親の意思で保育園に入れる。甲府の場合、保育園も満杯になっていて今までは100%までしか入園させてはいけなかったが、現在は125%までよいことになっていて国の考え方が変わってきている。

また、育児休業がありますから0歳児の方が入園しなくて園の運営が大変だということもでてきている。社会情勢を見ながらどうすべきかということになる。

それと、建物を建てることも大事ですが、敷島をみると子供がゆっくり遊べる場所がないから、保育園を考えるならば、保育園は入所した子供だけが対称になってしまう、それ以外に子育てを考えて自由に使える子供の広場がほしい。東京では公園が各所にあり遊具もあるが、敷島には意外と子供の遊び場がないと思います。

今から建物を建てる必要はなく、総合文化会館を生涯学習センターとしての活用を考えてみたらどうでしょうか。また、待機児童がどれくらいいるのか人口動態をみないと、いろいろ造ることは大変だと思います。

#### 【企画部長】

甲斐市の現状は、市内保育園が駄目なら甲府市等の園に入園しているため待機児童は0であります。充足率からみると100%を超えています。充足率100%超える分で甲斐市はどれだけみれるかということになりますので、違う場所に保育施設の充実が必要なのかと考えます。

#### 【会長】

無認可保育所も現在満杯で、公立に入りたい人もいるのではないかと。データの的なものがあれば次回、待機児童の関係、保育園等のデータを提示してもらいたい。

今まで話を聞くと、子供・児童の関係が非常に多い、生涯学習センターも勿論ではありますが、

子育て支援センター、保育園、子供が自由に遊べる広場という話が出ております。その他に何かありますでしょうか。

**【副会長】**

面積が広すぎて利用について考えているところです。

**【委員】**

自治会連合会での意見等はどうか。

**【総務課長】**

12月の敷島地区自治会連合会で、本日と同じ内容で説明する予定であります。

**【会長】**

様々な団体等と協議を行い意見集約を進めて頂きたいと思います。

甲斐市全体、敷島地区において良かったと言えるものにしてもらいたい。

**【総務課長】**

事務局の総務課でも12月の敷島地区自治会連合会へ出向き、跡地利用の話もさせていただきますので、よろしくお願いします。

**【委員】**

特にここは、敷島の中心部でありますので有効活用をお願いします。

**【会長】**

以上でよろしいでしょうか。また、次回に委員さんの意見を持ち寄っていただき違う意見も出ても良いと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、協議事項の審議を終わりたいと思います。

**【課長】**

活発なご意見ありがとうございました。子育て支援施設等の意見がありましたが、他団体・委員会等の意見も聞いてもらいたいということでありましたので意見集約をしていただきたいと思います。

それでは、5番目の報告事項でございますが、市の方でどんな内容で進めているかという内容でございます。担当部署は来ておりませんので事務局からの一方的な説明となりますがご理解願います。なお、総務課が見えておりますので、5、⑤竜王庁舎増築事業を最初説明させていただき、その後に①から事務局で説明させていただきます。

**【総務課長】**

(資料により説明：P21～29)

増築庁舎：1階 総合窓口、福祉関係、環境経済関係、相談室、キッズコーナー等

2階 教育委員会関係、防災対策室（平常時会議室）等

3階4階 公民館機能

12月上旬に安全祈願祭を予定しています。

**【会長】**

庁舎検討委員会でも何回か検討した結果、この計画で概ね了承ということであります。

契約も終わりましたが、委員さんから何かございましたらお願いします。

**【委員】**

現庁舎はどうなるのですか。

**【総務課長】**

増築ですから現在の庁舎もそのまま利用します。

**【委員】**

庁舎前の県道甲斐中央線の交通量が多いため、庁舎機能が集約されると利用者が多くなるため現状の道路で十分安全が保たれるのですか。

**【事務局】**

検討委員会でも庁舎利用者も多くなりますし、周りの交通渋滞ということもありまして、道路の拡幅、右折レーンの新設という話もありまして、右折レーンの計画図を描いて影響範囲を検討しました。結果、既存歩道橋にかかってしまうことと、北部公園がありますが公園は法律で面積基準が守られていまして、都市公園法で簡単に面積を削ることが難しいことがあります。ただ、安全面の確保や交通渋滞の緩和については、将来的には考えていかなければならないことですから、外溝工事でそのスペースが確保できる程度で今回は進めていきます。

また、駐車場も庁舎含め図書館、公民館利用者やイベント等には不足も考えられますので駐車場の確保しなければならないことから、あまり無理のない外溝で決めていきたいと検討しております。庁舎ができたからすぐ右折レーンを設置するとは言えませんが、重々その問題があるということは認識しておりますのでご理解願います。

**【会長】**

望月委員の意見がもっともでありますので、十分配慮をお願いしたい。

【会長】

その他に無ければ竜王庁舎の関係は終わりにしたいと思います。

【総務課長】

それでは総務課退席させていただきます。また、審議会の席上でお話を聞く機会にはよろしく願います。

※総務課退席

【会長】

それでは、①国の補正予算に対する甲斐市の対応について説明をお願いします。

【事務局】

事務局を担当しております企画課の石合です。よろしくお願いいたします。

それでは、5、①国の補正予算に対する甲斐市の対応について説明させていただきます。

冒頭、小田切部長からあいさつにもございましたように、前自民党政権下におきまして、経済不況打破に向けた大規模な補正予算が組まれました。予算総額が16兆円というかつてない規模の補正予算でございました。様々な事業メニューが示され、地方における取り組みを要請されたところであります。甲斐市においては、安心・安全なまちづくりの構築を基本に、課題とされている事業、また緊急性等を考慮し、次の事業の実施を決定し予算化したところでは、

それでは、個々の事業についてご説明いたします。

(資料により説明：P7～10)

※補足説明

1 防災行政デジタル無線

・最終的には親局1局、子局200局、個別受信機(指定避難場所)22箇所、個別受信機(難聴地区)178箇所 平成25年度の完成を目指し設計が行われています。

2 指定避難場所備蓄資材整備

・今回、これらの備蓄資材を整備することにより、22箇所の指定避難場所への備蓄資材がフラット化されます。

5 竜王赤坂地区活性化事業

・【目標】商標登録も視野に入れ事業に取り組んでいきます。

7 志麻の湯メタンガス分離装置設置事業

・メタンガスは地中にあるときは温泉内に溶け込んでおります。ポンプで汲み上げ圧力が下がりますと自然に温泉から湧き出しメタンガスが出てくる。濃度が5%以上になると

爆発の危険性があります。平成 19 年 6 月に東京渋谷区で温泉の爆発事故があり、メタンガスが引き起こした爆発事故であります。

8 学校 ICT 環境整備事業

- ・【整備内容】 校内 LAN LAN とは配線の事です。

10 中学校武道場新築事業

- ・平成 24 年度から武道が必修科目になります。

11 双葉体育館改築工事

- ・建設場所は既存体育館の北側の市有地となります。

【会長】

ここで質問を受け付けたいのですが。時間の都合もありますので、一括して説明をお願いします。

【事務局】

5、②志麻の里防災公園について

(資料により説明：P11.12)

※補足説明

- ・植栽樹木については、大きな木を植えるのではなく数・高さを考慮しています。また、芝生は機械で刈り込み可能な芝生(鳥取方式)を採用し管理が楽な芝生で管理コストを抑えます。10,20 年後にすばらしい公園に変貌するというコンセプトの中で設計されています。

5、③竜王駅周辺整備事業について

(資料により説明：P13～18)

※補足説明

- ・南口駅前広場 自動二輪車置場 2 箇所、駐輪場 484 台、短時間駐車場 16 台  
北口駅前広場 自動二輪車置場 1 箇所、駐輪場 620 台、短時間駐車場 8 台

5、④双葉スマート・インターチェンジについて

(資料により説明：P19.20)

※補足説明

- ・市道登美団地大屋敷線の交差点から ETC 出入り口までの進入路は既存道路を拡幅整備しました。また、11 月 21 日には開通セレモニーが行われました。

以上が、報告事項でございます。

**【会長】**

事務局からの報告事項について質問、意見等がありましたらお願いします。

**【委員】**

竜王駅の屋根の下には店は入らないのか。

**【企画課長】**

屋根の下は市有地であるため店、商店街形成は考えておりません。民有地を利用し民間で土地活用をしてもらいたい。

**【委員】**

地産地消は市の方でできないのか。

**【企画課長】**

現在、職員でプロジェクトチームを立ち上げまして、大屋根、南北自由通路を利用して、年間を通して行える事業・イベント等を職員に提案させ検討中でございます。

**【委員】**

ぜひ、お願いします。

**【企画部長】**

北口の民地は民間で有効活用を考えています。また、南口にはスペースが無く山梨交通の土地利用を考えるしかないが、民地のため市が誘致するわけにも行きません。市は駅利用者の利便性を優先に考えて、駅舎・南北自由通路を整備した。今後の利活用について、市民はもとより市外、県外、国外に駅舎を見ていただく、言い方を変えれば一つの芸術作品でもあるので市はこれだけ投資した以上、有効活用していかなければならないと考えております。

**【委員】**

南口には駐車場（民間駐車場）があるが北口にも設けてほしい。

**【会長】**

屋根の下の有効活用する検討をお願いしたい。駐車場については市で云々ということは大変でありますから、それは民活の中で話が出てくることでしょう。

**【委員】**

国の補正予算関係で学校 ICT 環境整備事業について、学校だけではなく保育園へも考えていただきたい。甲斐市においては縦割り行政ではなく横割り行政でやっていただきたいことと、同じ

子供なので難しいとは思いますが今後の課題にしていきたい。

**【企画部長】**

今回の事業についてはいろいろな事業があるわけですが、大きいところだと学校の体育館の建替え、しかも竜王地区がほとんどですが、竜王地区は敷島地区と違って耐震化が遅れていました。合併するときに敷島中学校以外はすべて耐震化（校舎、体育館）しなければならず、合併後のH18年度に敷島中学校体育館を造りました。年次計画で進めてきましたので、竜王地区は数も多いですし遅れてきたということです。

この事業のほとんどが、国の16兆円の補正予算の中で甲斐市は予算計上しています。この事業費の約9割近くは国の補助金と交付金であります。各省庁が旧政権の中で予算を持っていて省庁ごとに配分をしました。確かにこの予算を配分できればよいのですが目的が決まっているため仕方ないことであります。今後は学校ICTを整備した後は、保育園・幼稚園に順番に充実させていく考えであります。

**【会長】**

よろしいですか。他にありますか。

**【委員】**

今回の補正予算は削られることはないのですか。

**【企画部長】**

国が現在、事業仕分けをしているのはH22年度新年度予算に向けて事業見直しを行っているわけですし、旧自民政権に大型の補正予算を行ったものであり、その補正予算に絡んだ事業であります。16兆円のうち3兆円は減したけれども、甲斐市の事業については甲斐市がお願いをした内容で国が付けてくれるということです。事業の内容によっては1/2という事業もありますが、学校関係の事業は普通1/3しか補助が付かないのですが、しかしこの内容でいきますと6割近く補助金が付きます。この時期にこの事業をしなければ甲斐市は5年先、もしくはもっと先まで事業をしていかなければならず、甲斐市は前倒しで事業を実施していきたいということでありまして、これから先の残された事業を進めていくうえについて、ある程度余裕が出てくるということで現在考えております。

**【会長】**

よろしいでしょうか。時間も大分経過しておりますので、これをもちまして今日の第2回地域審議会の協議事項、報告事項に対します各委員さんからのご意見、ご提案はこの辺で終わりにしたいと思います。今日は遅くまでご苦労様でした。座長を下ろさせていただきます。

ありがとうございました。

**【企画課長】**

山口会長さん大変ありがとうございました。それでは、その他委員さんから何かございますか。

(意見等なし)

次回審議会を、来年の2.3月頃に予定しておりますので、日程が決まり次第ご通知をいたします。なお、その際に敷島庁舎の跡地利用についての審議でありました保育園、子育て関係の資料、データ等を出していただきたいという提案がありましたので、その時にお出ししたいと思います。

それでは、閉会のことばを赤澤副会長よろしく申し上げます。

**【会長】**

その前に、協議の中でも話をしてましたように各団体に一度、跡地関係について出来れば説明をお願いしたい。ここだけではなくて自治会もあれば民生委員もありますので大きな団体にはできるだけお願いしたい。

**【企画課長】**

わかりました。その関係は所管が総務課でございます。先程、総務課長も12月の自治会連合会、あるいは老人クラブ、民協といった大きい団体については意見も聞いていきたいということでもあります。私どものほうも総務課へ伝えていきたいと思えます。

**【委員】**

社会福祉協議会にもぜひお願いしたい。

**【企画課長】**

新年度4月になれば諸団体の総会等がありますので、いろいろと意見聞く中で所管は総務課ですので内容は総務課に伝えておきます。

それでは、閉会のことばを赤澤副会長よろしく申し上げます。

**【副会長】**

お疲れのところを、長時間にわたりまして慎重審議ご苦労様でした。また、山口会長さん議長ご苦労様でした。これをもちまして、今回の審議会終わりといいたします。ご苦労様でした。

**【企画課長】**

それでは、あいさつを交わしまして閉会といたします。

「相互に礼(ご苦労様でした)」

■午後9時終了